

子育て・家事がしやすくなる

福井の住まいづくり事例集



はじめに

本県は、「福井県長期ビジョン」により、「自信と誇りのふくい」「誰もが主役のふくい」「飛躍するふくい」を将来の姿として、“くらしの安心”と“社会の活力”、さらには“県民の誇り”が相乗的に高まり、好循環を生み出す「福井モデル」を目指しております。

また、「幸福度日本一」という輝かしい評価を受けており、全国に誇れる暮らしの豊かさがあります。特に、子育てしやすく、男女共に働きやすい環境が整っており、ゆとりある戸建て持家住宅の割合が高く、豊かな自然環境や良好なまち並み、失われない家族や地域のつながり力が特長となっています。

一方で、共働きが多い中での育児や、家事・介護等も一人で担いがちな女性の負担などを指摘する声もあり、多様な生き方や価値観をお互いに認め合いながら、家族が支え合い、希望する形で出産・子育て等をできる環境づくりが重要です。

この事例集は、住まいづくりの上で女性の視点から「子育てのしやすさ」、「家事の負担軽減」に注目し、気を付けたい点をまとめたものです。これから福井で家を建てようと考えている方にとって、あなたや家族のライフスタイルにあった住まい方を考えるきっかけになり、理想の住まいづくりのためにお役に立てば幸いです。

目次

<アンケート編>

アンケート集計結果	2
-----------	---

<事例編>

事例集の見かた	8
---------	---

Aさん事例	10
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども2人)

Bさん事例	12
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども3人)

Cさん事例	14
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども2人)

Dさん事例	16
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども2人)

Eさん事例	18
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども2人)

Fさん事例	20
-------	----

(家族構成：両親 + 夫婦 + 子ども2人)

Gさん事例	22
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども2人)

Hさん事例	24
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども1人)

Iさん事例	26
-------	----

(家族構成：夫婦 + 子ども2人)

<参考>

女性視点での住まいづくりに関するアンケート調査表(参考)	30
------------------------------	----

アンケート編

1. アンケート調査の概要

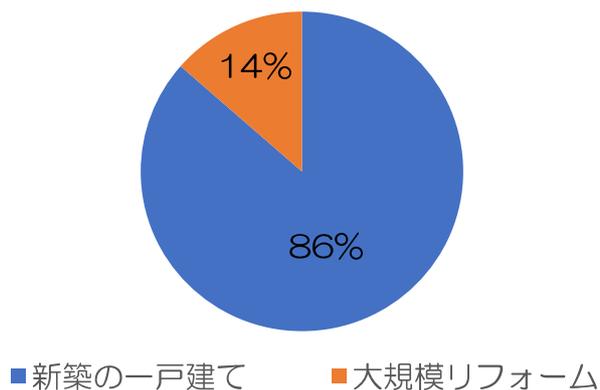
県内の共働き家庭の女性向けに住まいづくりのアンケート調査を実施

・回答者数：221人（福井県独自抽出調査）

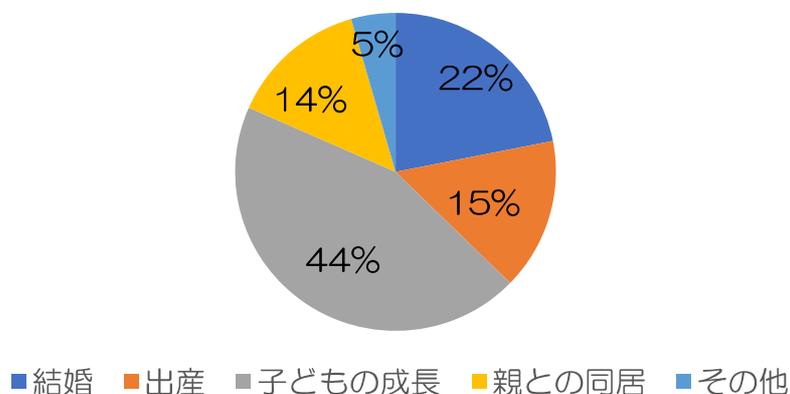
※回答者数のうち9名に追加で聞き取り調査を実施し、事例集にまとめました。

2. 調査結果概要

○あなたの住まいは？



○住まいの新築、大規模リフォームしたきっかけは？

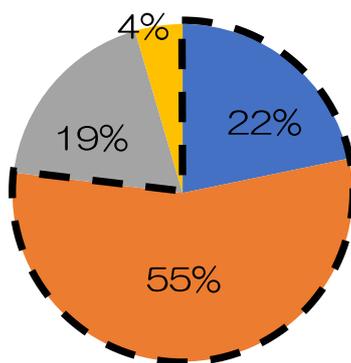


住まいを建てる（リフォームする）きっかけは、子どもの成長とした理由が最も多く約4割を占め、次いで、結婚、出産、親との同居をきっかけに検討する傾向があります。

（その他）

- ・親と近居するため
- ・住んでいる家の老朽化
- ・福井へのUターンのため など

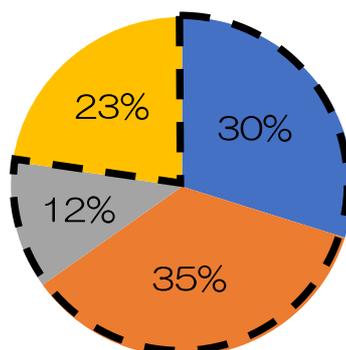
○建築当時の年齢は？



■20～29歳 ■30～39歳 ■40～49歳 ■50歳以上

新築（リフォーム）時期は20歳代～30歳代で全体の約8割を占めています。

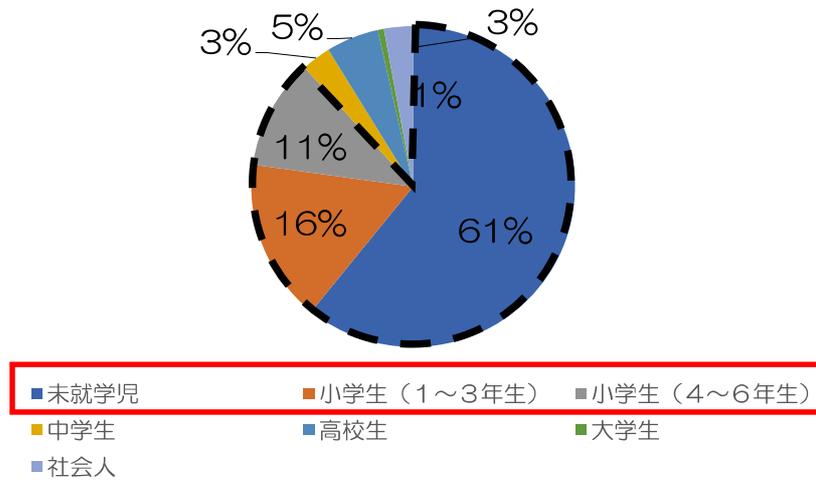
○建築当時の子どもの状況は？



■いた（1人） ■いた（2人） ■いた（3人以上） ■いない

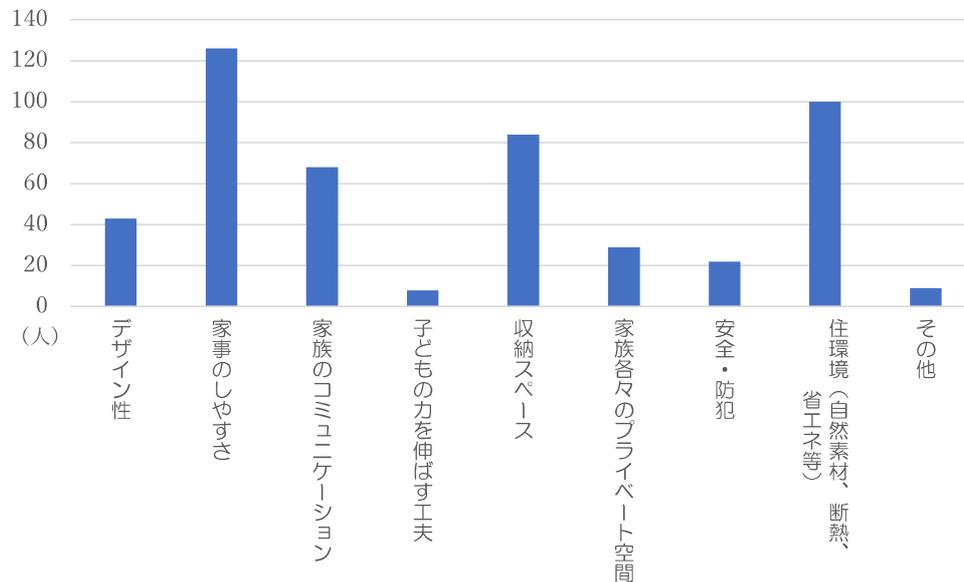
新築（リフォーム）時期に子どもがいる世帯が約8割を占め、特に1人目から2人目で建築する傾向があります。

○建築当時の子どもの状況（一番上の子ども）は？



一番上の子どもが小学校入学前に建築を考える方が約6割を占め、中学校入学前までが約9割を占めており、子どもがいる家庭では、中学校入学前までに新築(リフォーム)を考える傾向があります。

○住まいを新築、大規模リフォームする際に重視した点は？（複数回答）

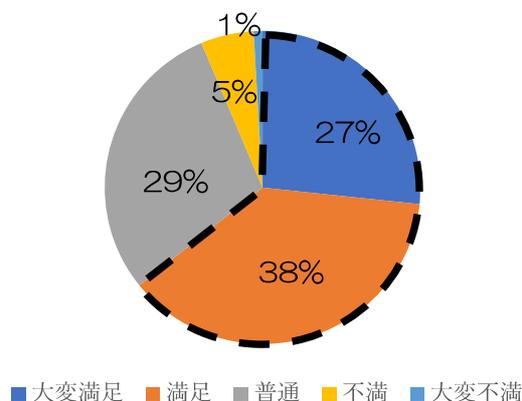


家事のしやすさを重視したと回答される方が多く、次いで収納スペース、住環境などを重視する傾向があります。

（その他）

- ・介護のしやすさ
- ・価格
- ・耐久性のある水回り設備 など

○どの程度満足しているか？



住まいに満足されている方が約6割を占めています。

○子育てのしやすさや家事の軽減のための工夫点（回答抜粋）

- 共働きで洗濯物を外に干せないで、室内（脱衣室付近）に洗濯干場（サンルーム等）を設け、近くに収納スペースを計画した。
- キッチン横にパントリーを設けた。
- 家事動線が短くなるよう、キッチン周辺に洗濯・脱衣室、風呂、ファミリークロークを配置し、回遊できる計画とした。
- 子どもの様子が確認できるよう、キッチンからリビング、ダイニング、和室などが見える計画とした。
- 収納スペースを考える上で、何をどこに片付けるかまで検討して計画した。
- 子どもと顔が合わせられるよう、リビング階段にした。
- ロボット掃除機が使えるよう、住宅内は段差のないバリアフリー構造とした。
- 買い物から調理までをスムーズに行える動線計画とした。

○子育てのしやすさや家事の軽減のための工夫でうまくいかなかった点

（回答抜粋）

- 収納が多すぎて、逆に不要なものが増えすぎてしまった。
- 洗濯、物干しの動線を優先した結果、収納スペースが遠くなってしまった。
- コンセントの位置
- サンルームは湿気がこもり、思ったほど衣類が乾かなかった。
- サンルームが図面では広く感じたが、実際使ってみると狭かった。
- 子どものもの（絵本、おもちゃなど）が想像以上に増え、収納方法に困った。

○新築（大規模リフォーム）時から、将来を見越して工夫した点（回答抜粋）

- 子ども部屋は、壁で仕切らない計画または簡易な間仕切り（建具、家具）とした。
- 親との同居を想定して、1階に和室を設け、同居前は客間として使用する計画とした。
- 将来夫婦だけになった時に、1階で生活が完結できる間取りとした。
- 両親との同居を見越して、建具は引戸としバリアフリー化した。

○調査結果のまとめ

- ・子どもの成長をきっかけに、住まいを検討される方が多い傾向にある。
- ・女性の視点では、家事のしやすさ、住環境、収納スペース、家族のコミュニケーションなど、家事や家族のことを考えた住まいを計画する傾向がある。
- ・将来、親との同居や自身の高齢化を考慮して、バリアフリー化や間取りを考える方が比較的多い。

事 例 編

○事例集の見かた

①家族のタイムテーブル

住まいづくりは、家族構成や立地条件などさまざまな要因に左右されます。

住宅の在り方、家族構成の移り変わりを考え、ある時点だけに限定した「空間構成＝間取り」ではなく、家族構成の変化に柔軟に対応できる計画が望ましいと思われま

す。住まいを考える上で、自分自身や家族一人ひとりの将来について、おおよそのイメージがあり、それぞれが希望や不安を抱きながら将来を予測しています。

しかし、家族全員の将来像を同時にイメージするのはなかなか難しいことです。

そこで、聞き取り調査を実施した9名について「家族のタイムテーブル」をまとめましたので、ご自身の家族構成と対比しながら、家族の将来像について考えてみてくだ

さい。

<補足事項>

子育て期間：一番上の子が生まれてから、一番下の子が大学卒業までの期間を想定

人生の再スタート：定年退職後（60歳以上）を想定

両親の介護：定年退職後（60歳以上）を想定

②計画プラン

聞き取り調査を実施した9名が、住まいづくりのプランの中で子育て・家事の軽減のために工夫した点、改善が必要または不満がある点をまとめてみました。資金面や敷地条件などの制約もありますが、それぞれの体験談を通して、最適なものを探してみてください。

<補足事項>

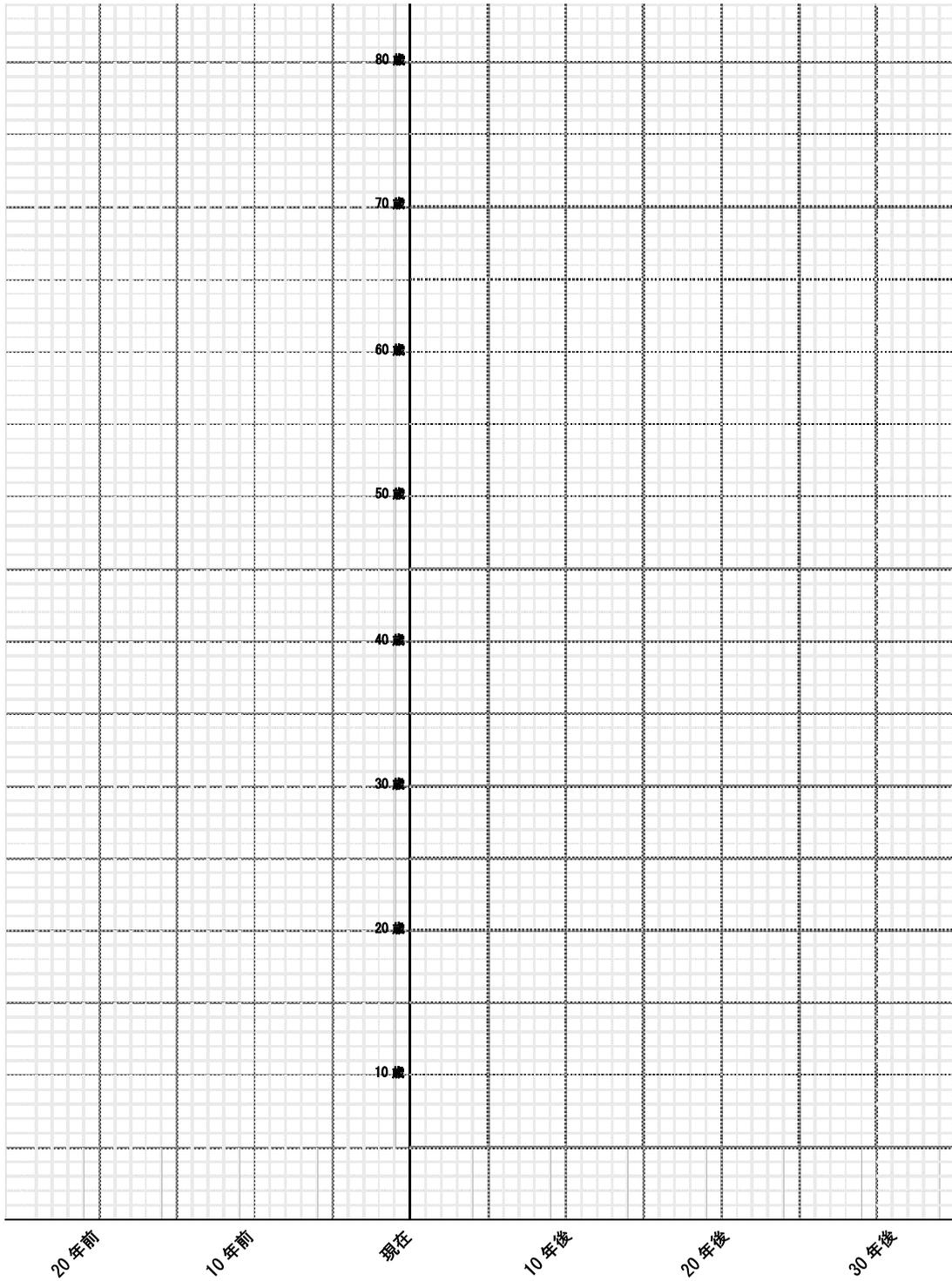
工夫点：家事の負担軽減や子育てのしやすさ点から工夫したもの

改善点：家事の負担軽減や子育てのしやすさの点から改善したほうがよいと思うもの

ポイント：家事の負担軽減や子育てのしやすさ以外で工夫したもの

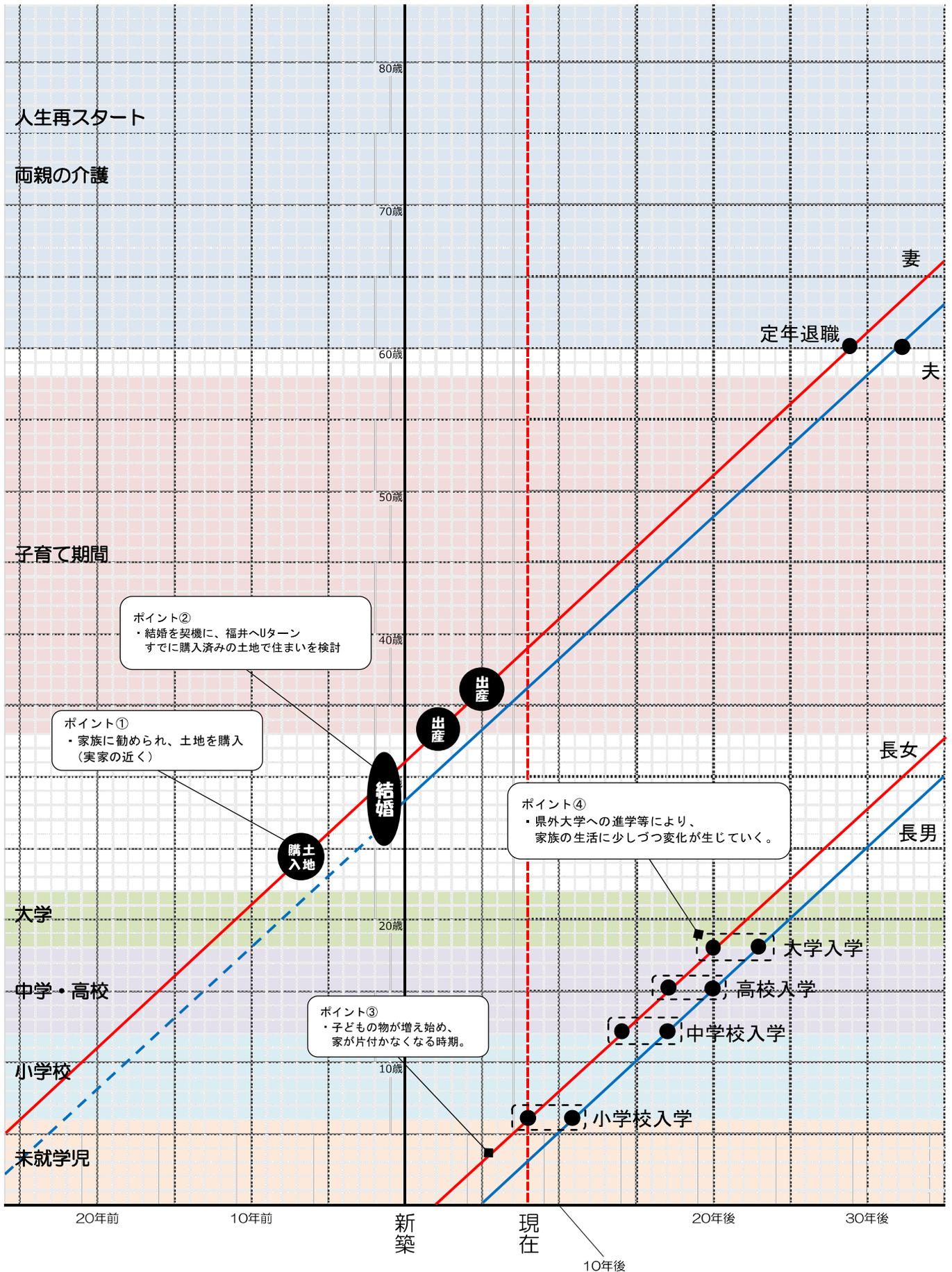
参考文献：住まいの解剖図鑑 増田奏 著

〇〇家族のタイムテーブル



家族のタイムテーブル (Aさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども2人



Aさんの住まい紹介

(アンケート満足度(最大5): 2)

改善点

サンルームを西側に作ったが、洗濯物が乾きにくい。

工夫点

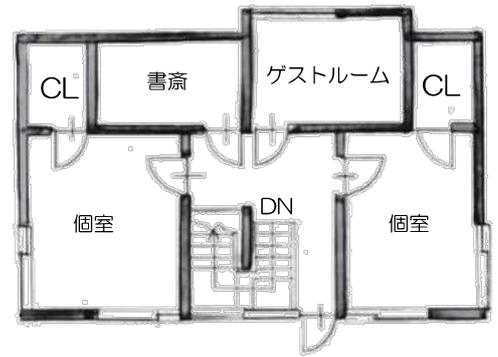
脇玄関からキッチンへ直接行ける動線とし、脇玄関内に日用品収納用の棚を設けた。



脇玄関 (外部側)



脇玄関 (DK側)



2F

改善点

子どもの物(雛人形、五月人形、プールなどの季節もの)が想定以上に増え、収納場所に困る。



サンルーム (西側)

工夫点

浴室、脱衣室近くに、洗濯場所、サンルームを計画! 洗濯、収納の動線が短い!

ポイント

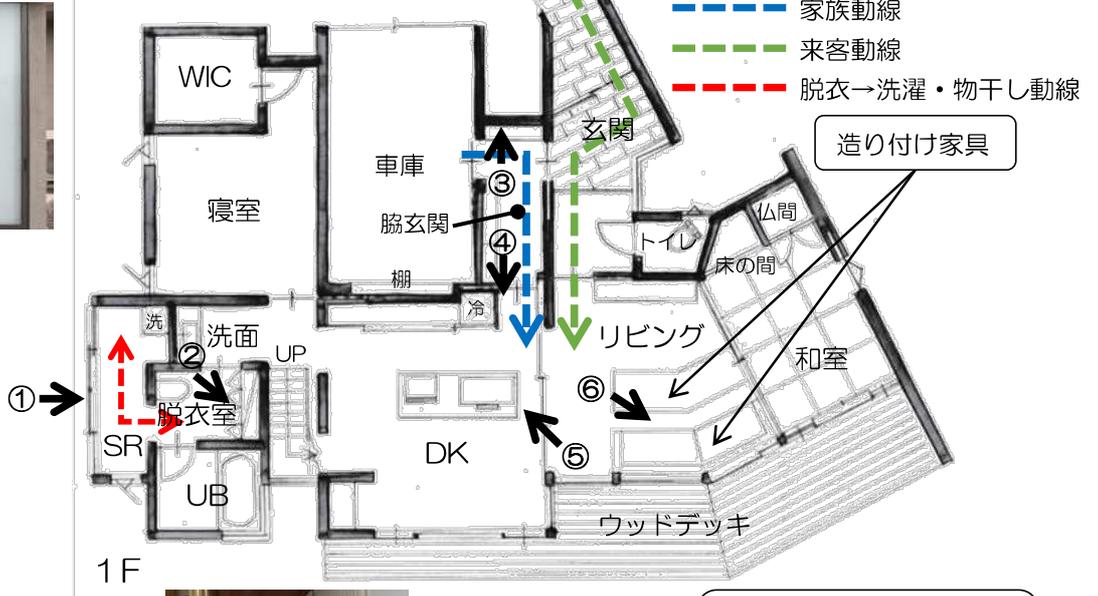
脱衣室には、造り付け収納を家族ごと(男女別)に設けた。



脱衣室

工夫点

トイレやお風呂は掃除しやすい材質を選択



1F



キッチン

工夫点

ロボット掃除機で部屋全体を掃除できるように、段差をなくし、キッチンも浮かす計画とした。

ポイント

田舎の風景を楽しめるよう、ガラス張りを多くした



リビング

ポイント

作り付けの家具を多く設置

家具を購入するより、結果的に安くなった!



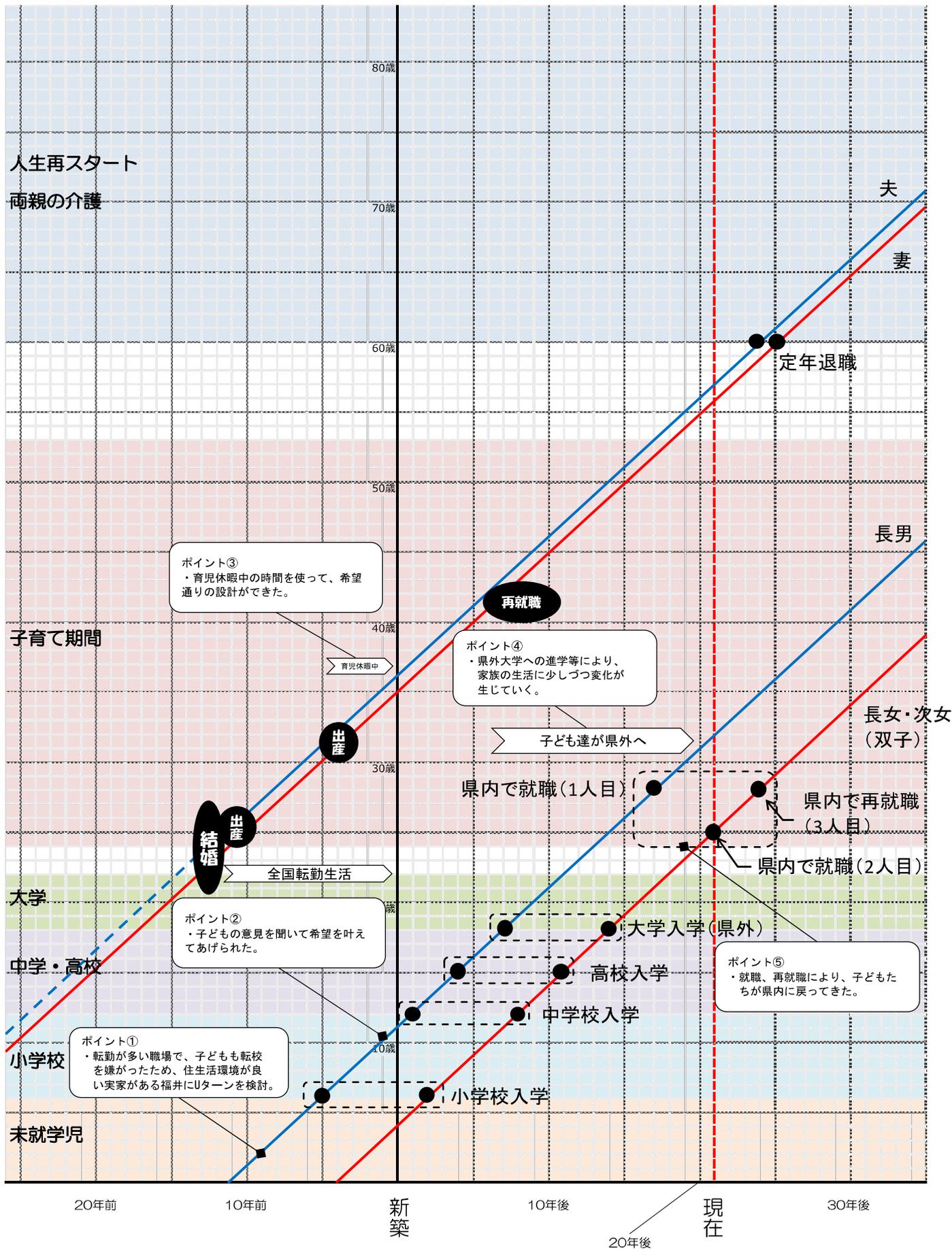
一方で、修理に時間がかかったり、修理できないものもあるため、使用場所を吟味する必要がある

Aさんからのアドバイス

- 建築時に、夫、妻、子どもなどのそれぞれの収納をつくと各々で自由に使える便利。
- 掃除しやすい材質、ロボット掃除機を使えるよう段差等がない構造にするとよい。

家族のタイムテーブル (Bさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども3人



Bさんの住まい紹介 (アンケート満足度 (最大5) : 5)

子どもが全員県外に出た際は、1階の和室を寝室に使用便利だった！

ポイント
リビングと一体的に利用できるテラスを設置
雨が吹き込まないように庇を深くした。

ポイント
リビング、テラス、庭が同じ高さになっていてとても開放的！



リビングと一体のテラス

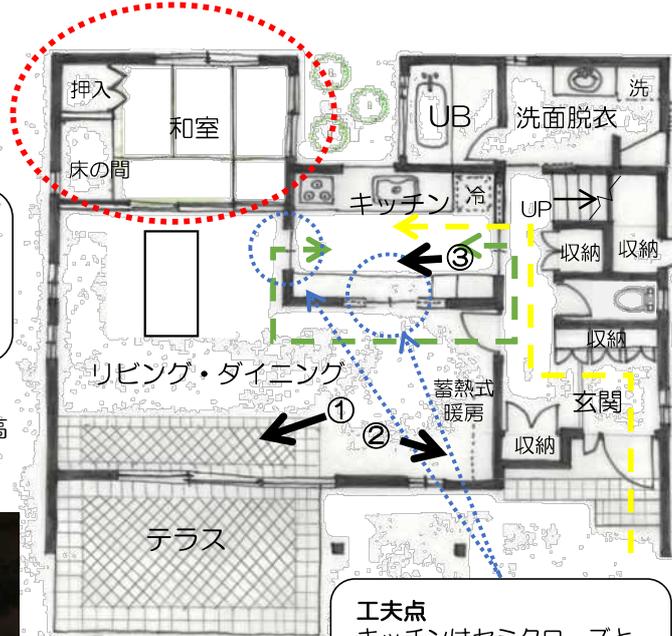
ポイント
寝室には、造り付けのテーブルを設置。テレワークもできて便利！

ポイント
子ども達は成人して、全員家に戻ってきたが、建築当初とほぼ生活スタイルを変えずに、住むことができた。

寝室
夫婦用 → 長男用
子ども部屋2つ → 長女・次女用
和室 (1階) → 夫婦用

Bさんからのアドバイス

- 子ども部屋を作る際、子どもの意見も聞いたことで、子ども達にとって居心地のよい住まいが作れた。現在は、一度県外に出た子どもたちも全員戻ってきました。メンテナンスをしながら永く住み続けていきたいです。
- アトピー対策として、無垢材(ヒバ)の床、リノリウム床、自然素材の塗料、蓄熱式暖房機等、体に優しい素材を採り入れました。



1F

工夫点
キッチンはセミクローズとすることで、普段と来客時の使い方に配慮。

工夫点
家事動線を考慮して、キッチンは回遊できるようにした。玄関からの動線も短く、買い物帰りの片付けも楽。

工夫点
子ども達と料理を作れるよう、キッチンを広くした。



リビング (蓄熱式暖房)
蓄熱式暖房を設置。(20年前前では、設置しているところは少なかった。) 結露もなく、24時間優しい暖かさ。

- 買い物→調理までの動線
- キッチンの回遊動線
- 物干し→片付け動線

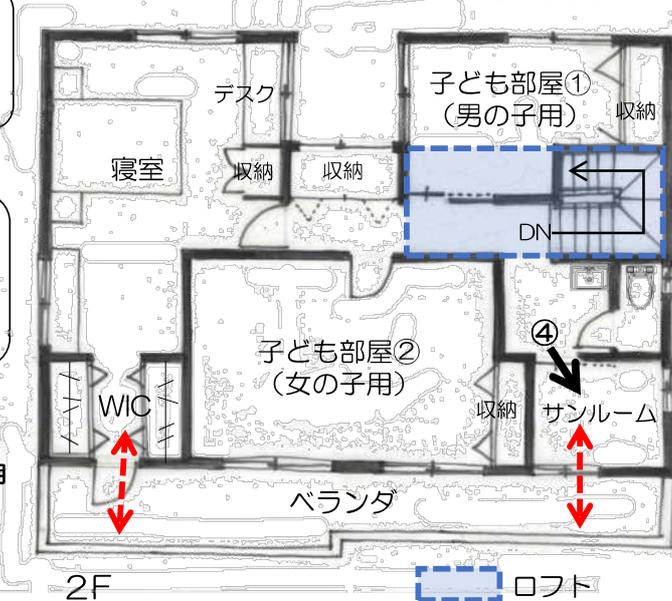


セミクローズのキッチン

工夫点
収納スペースを大きく取り、家具は作り付けにして、物を置かないようにした。

ポイント
長男の希望で、子ども部屋①はタタミ敷とし、秘密基地風のロフトを設けた。成人後も、お気に入りのスペースとして使用している。

工夫点
2階の南側に、サンルームとバルコニーを設置。洗濯物を干す・しまう動線を短くした。



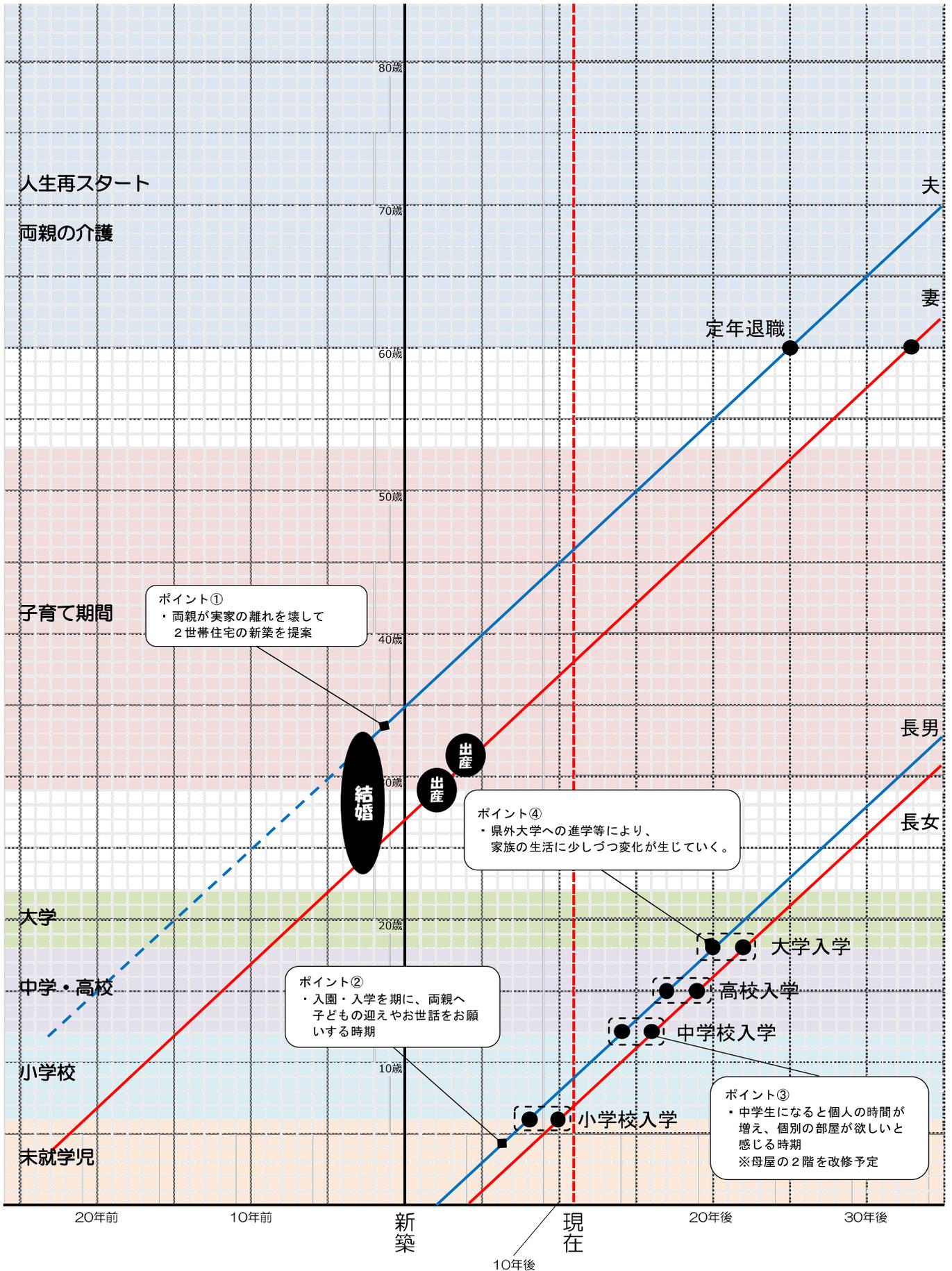
2F



サンルーム

家族のタイムテーブル (Cさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども2人



Cさんの住まい紹介 (アンケート満足度(最大5):3)

子ども部屋への動線
両親が仕事で留守の場合は、母屋(祖父母宅)から出入する。

ポイント
家族4人で住むサイズ感がお気に入り。大きくもなく、小さくもない。

改善点
収納が全体的に少なく、もう少し作れるとよかった。

工夫点
子どもと顔を合わせる機会を作るため、リビング階段とした。

① リビング階段

② キッチン

③ リビング

④ **⑤** 中2階のサンルーム

⑥ 寝室

工夫点
南側に面してサンルームを設置。敷地の制約上、玄関上の中2階スペースを活用。
洗濯物が多い日は中2階まで持って上がるのが大変ですが、夫が協力してくれるので助かってます!

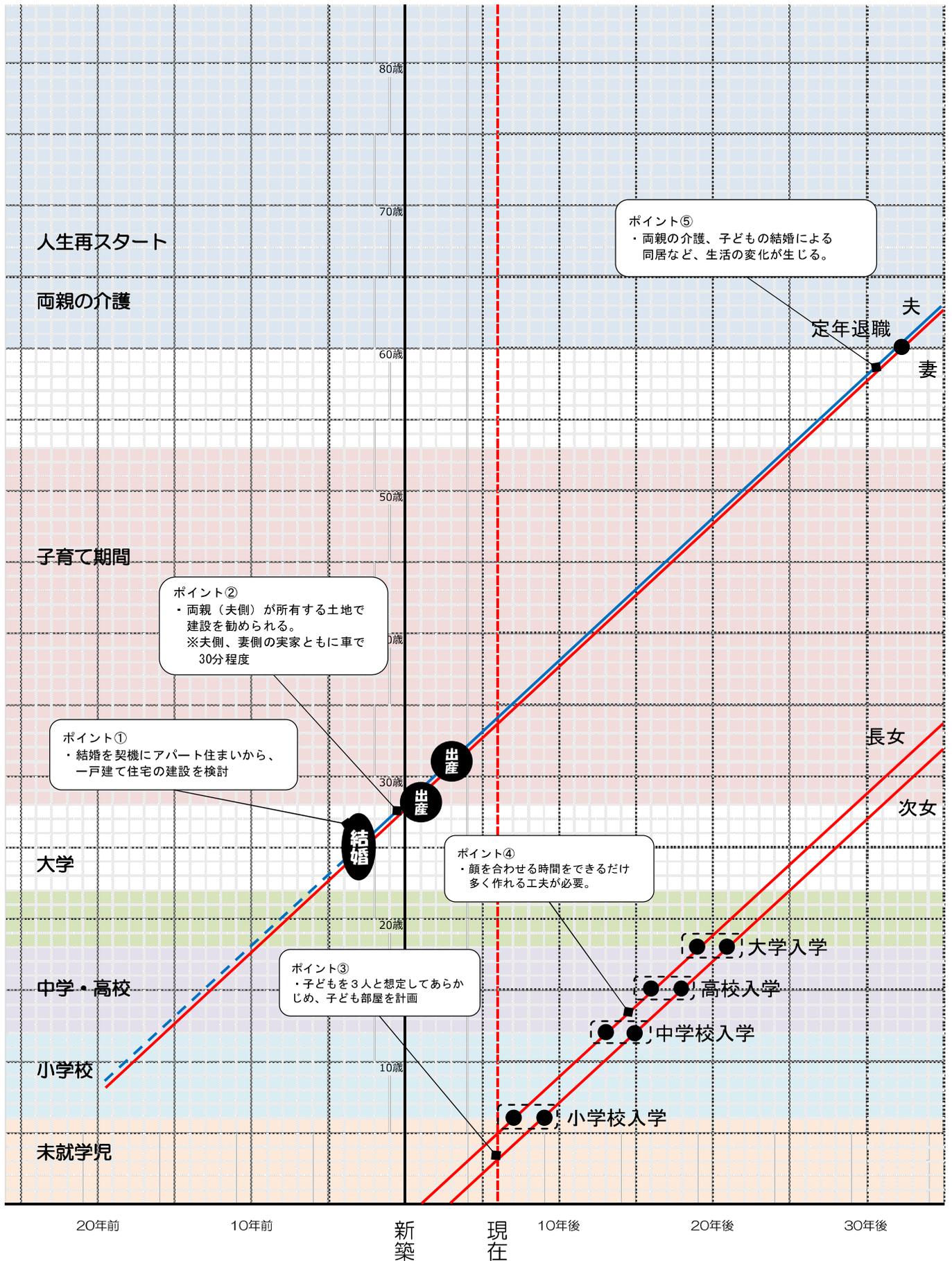
ポイント
子ども部屋が1部屋しか取れなかった。将来、母屋の2階を子ども部屋としてリフォーム予定。

Cさんからのアドバイス

- 我が家の場合、設計に入る前に工務店の方が同じような家族構成の新築物件を何棟も見学させてくれたことが大変参考になりました。100点満点の住まいづくりは難しいですが、家族としっかり話し合って納得した上で作った家は、欠点があってもきっと好きになれると思います。

家族のタイムテーブル (Dさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども2人



Dさんの住まい紹介 (アンケート満足度 (最大5) : 4)

ポイント

玄関横に広めのシューズクロークを設置し、玄関をスッキリ。タイヤ、三輪車なども置ける。



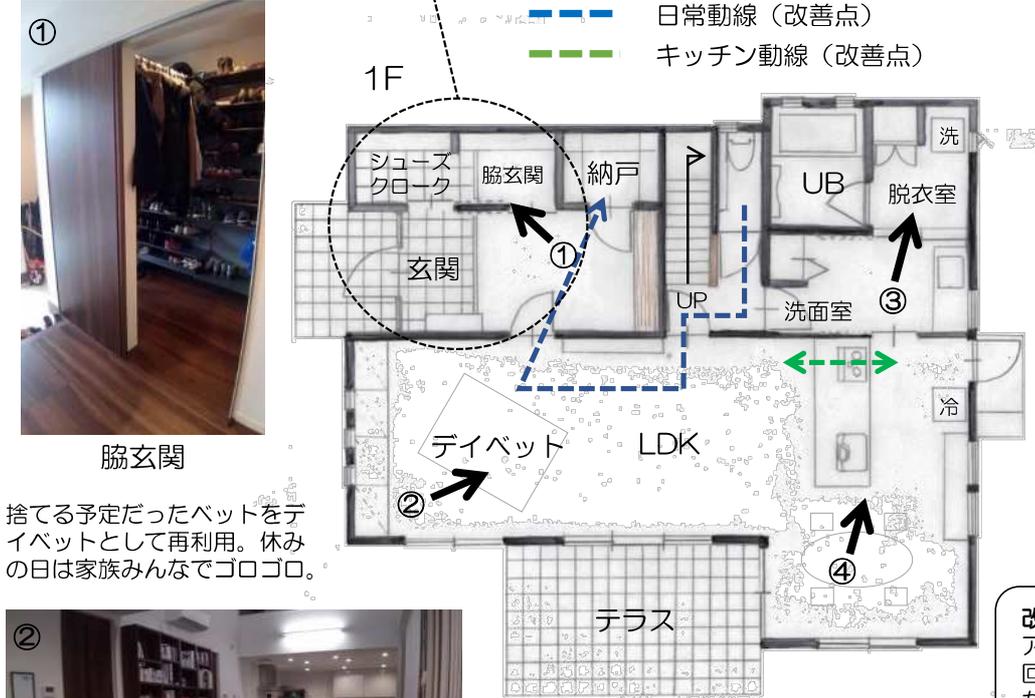
脇玄関

改善点

トイレから納戸 (トイレットペーパー、日用品) への動線が長く、不便。

工夫点

洗濯物は外干しをせず、脱衣室+洗面で干せるよう計画。



捨てる予定だったベットをデイベットとして再利用。休みの日は家族みんなでゴロゴロ。



リビング

改善点

アイランド型キッチンにして、回遊できるようにすればよかった。

工夫点

料理は、夫の仕事。通常のキッチンより高さを高くして、調理を楽しんでいる。



キッチン

工夫点

2階には、ウォークインクローゼットの他に、納戸を設けて、収納力アップ。



寝室からリビング



ポイント

あらかじめ、子ども3人を想定して子ども部屋を計画。現在は子どもが小さいため、物置として利用

工夫点

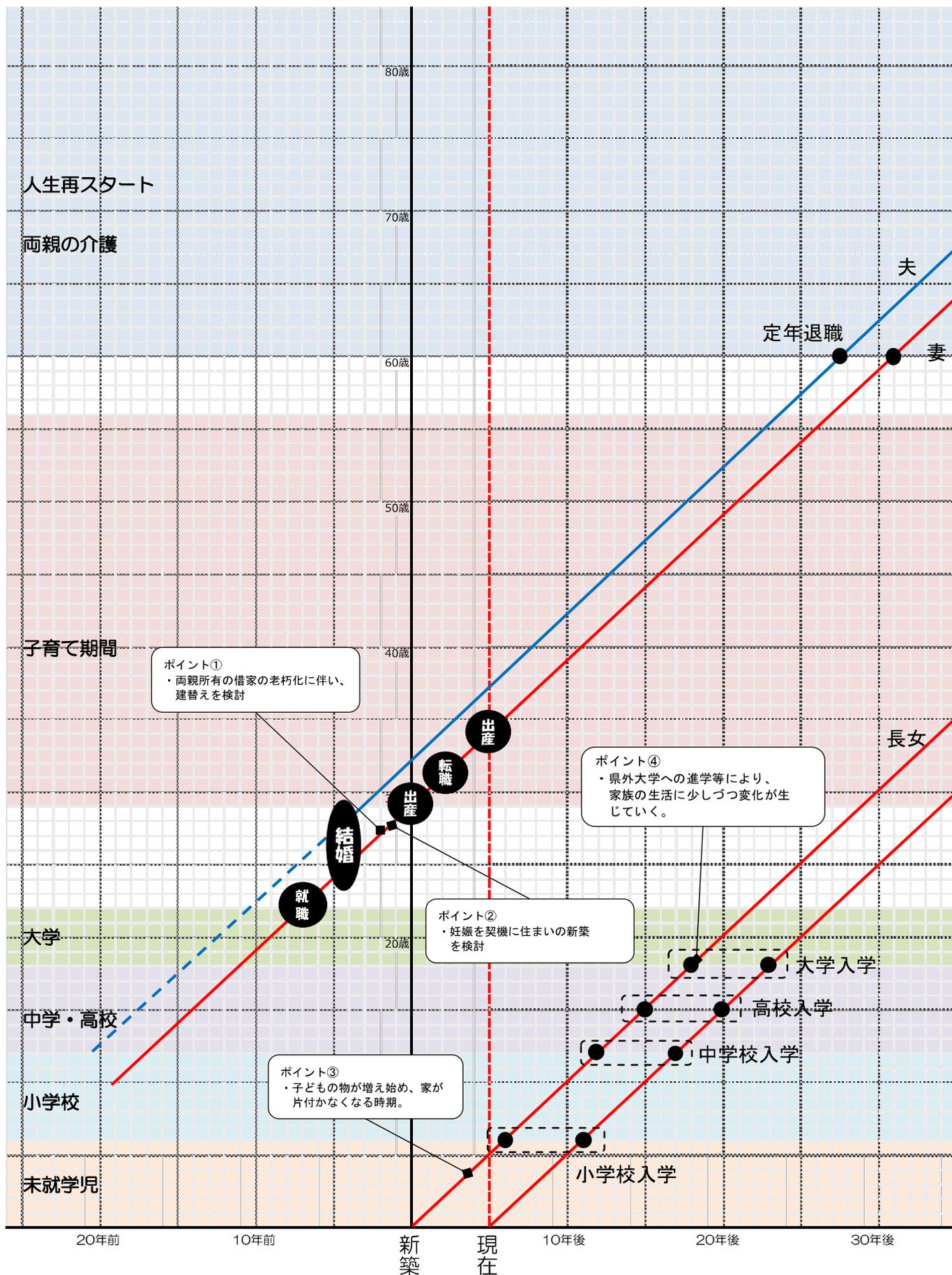
寝室からもリビングに居る家族と顔を合わせられるように、開口を設けた。

Dさんからのアドバイス

- 子どもが小さい間は、家事をしながら子供の様子が確認できたり、移動距離をできるだけ短くした間取りが良い。

家族のタイムテーブル (Eさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども2人



Eさんの住まい紹介 (アンケート満足度(最大5): 5)

工夫点 (ダイニング①)

ダイニング横に、子どもの勉強机と兼用した事務スペースを設置。テレワークにも活用可



ダイニング横の学習スペース

工夫点 (ダイニング②)

ダイニングテーブルの上に物を置かないよう、小物用の収納を設置



小物入れ
ダイニング

ポイント (和室)

親との同居、介護を想定して和室を設置。将来、独立して使用できるように入口を2か所設置

改善点

福井では冬用タイヤ、除雪用具の収納が必須。大き目の外物置があるとよい



工夫点

浴室・洗面所近くにファミリークロークを設置し、常時使うものを仕舞えるよう配慮。その他は2階ウォークインクローゼットへ



ファミリークローク



階段下収納



リビング・和室

工夫点

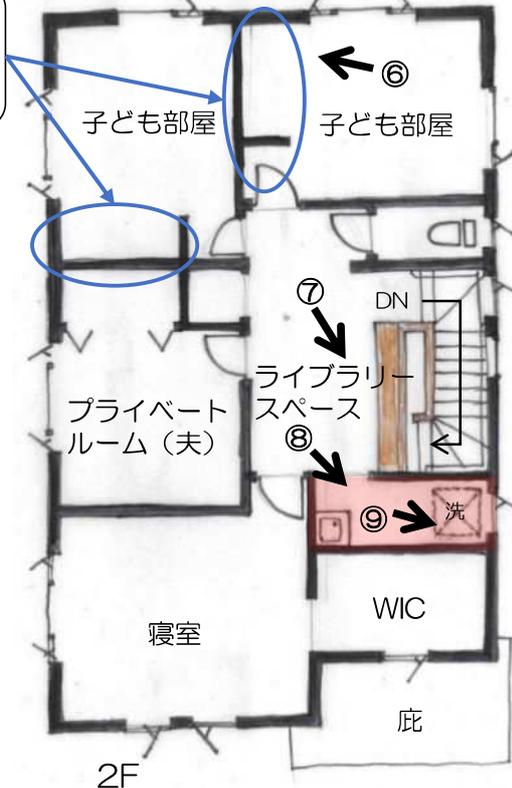
子ども部屋のクローゼットには扉をつけず、必要に応じてカーテンなどで対応。



子ども部屋

工夫点

夫のプライベートルーム 子どもが3人になったら、子ども部屋へ!



工夫点

ホールに絵本やマンガを置く本棚を設置。床はカーペットにしておくつづける空間に!



ライブラリースペース



サンルーム兼洗濯スペース

工夫点

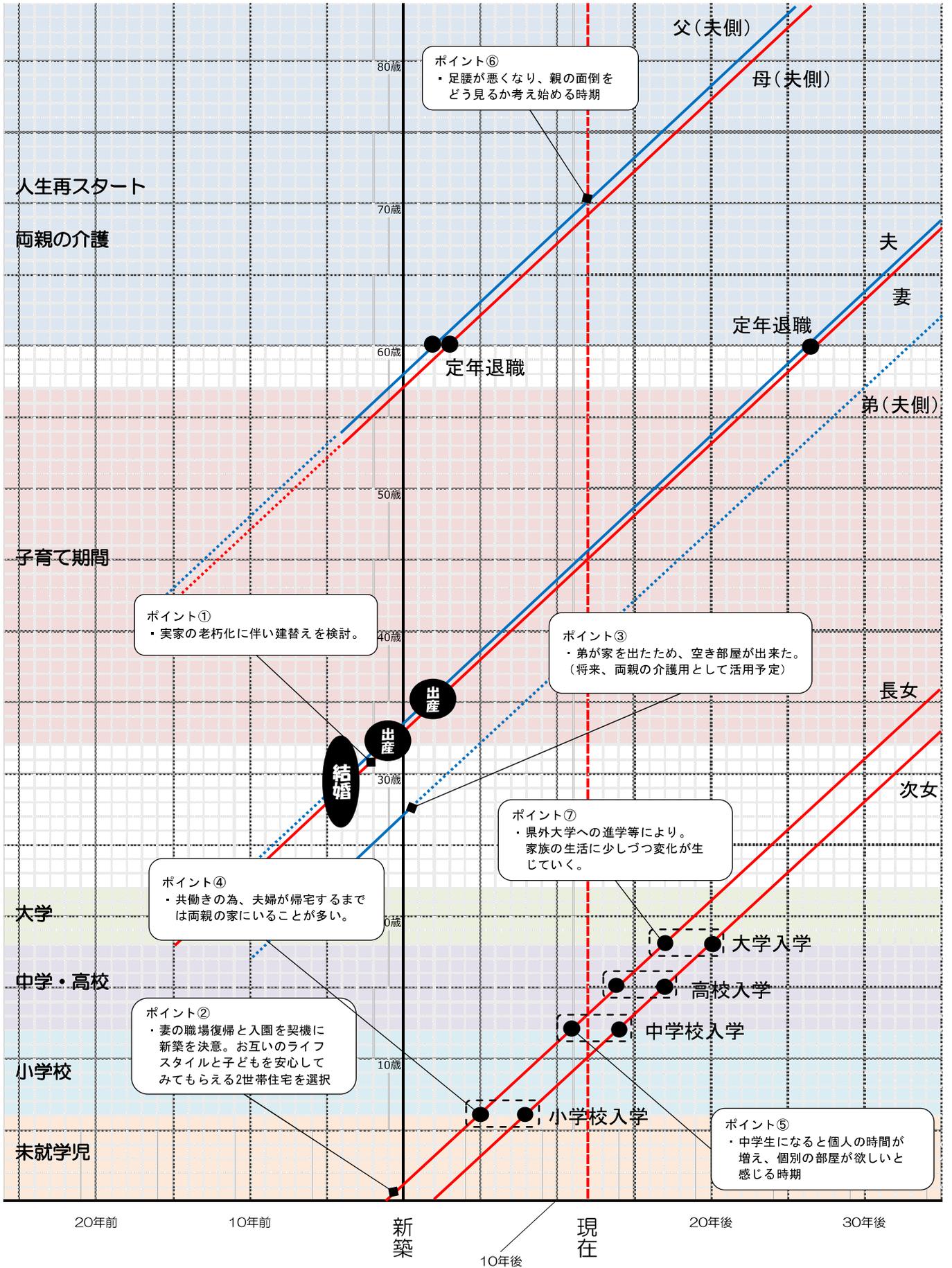
リビングを広くとるため、サンルームを2階へ。洗濯は夫にまかせて、家事の効率もアップ

Eさんからのアドバイス

- 家に必要な物をリストアップして、何をどこに収納するのかを決めておくとよい。
- 女性の場合、どこで化粧するのも重要!
- コンセントは多めに!

家族のタイムテーブル (Fさんのケース)

家族構成：両親 + 夫婦 + 子ども2人



Fさんの住まい紹介(アンケート満足度(最大5):4)

ポイント

完全2世帯の適度な距離感で両親との良好な関係を築けた。

ポイント

生活動線がワンフロア内で完結するので便利



1F (親世帯)

ポイント

将来、住まい方の変化に合わせて、内部で行き来できるように改修可能な非耐力壁とした。

子世帯玄関

親世帯玄関

ポイント

洋室は親の介護が必要になった際に活用できるように駐車スペース横に配置

工夫点

洗面所で洗濯物が干せるよう広めに計画。ただた洗濯ものを置く台も設置。乾燥は除湿器をフル活用!



キッチン

改善点

キッチンは回遊(2方向からの移動)出来るようになった。

ポイント

生ゴミを外に置くことで、室内ににおいを入れない!

改善点

大容量の小屋裏収納を設けたが、はしごでの昇降が大変でほとんど活用されていない。



小屋裏収納

小屋裏収納

ポイント

壁一面のオリジナルの収納棚を設置し、細々とした生活用品もすっきり収納!



オリジナル壁面収納

工夫点

将来的に子ども部屋は間仕切って使用する計画だったが、女の子2人のため間仕切らずに使用している。



子ども部屋

2F (子世帯)



LDK全景

工夫点

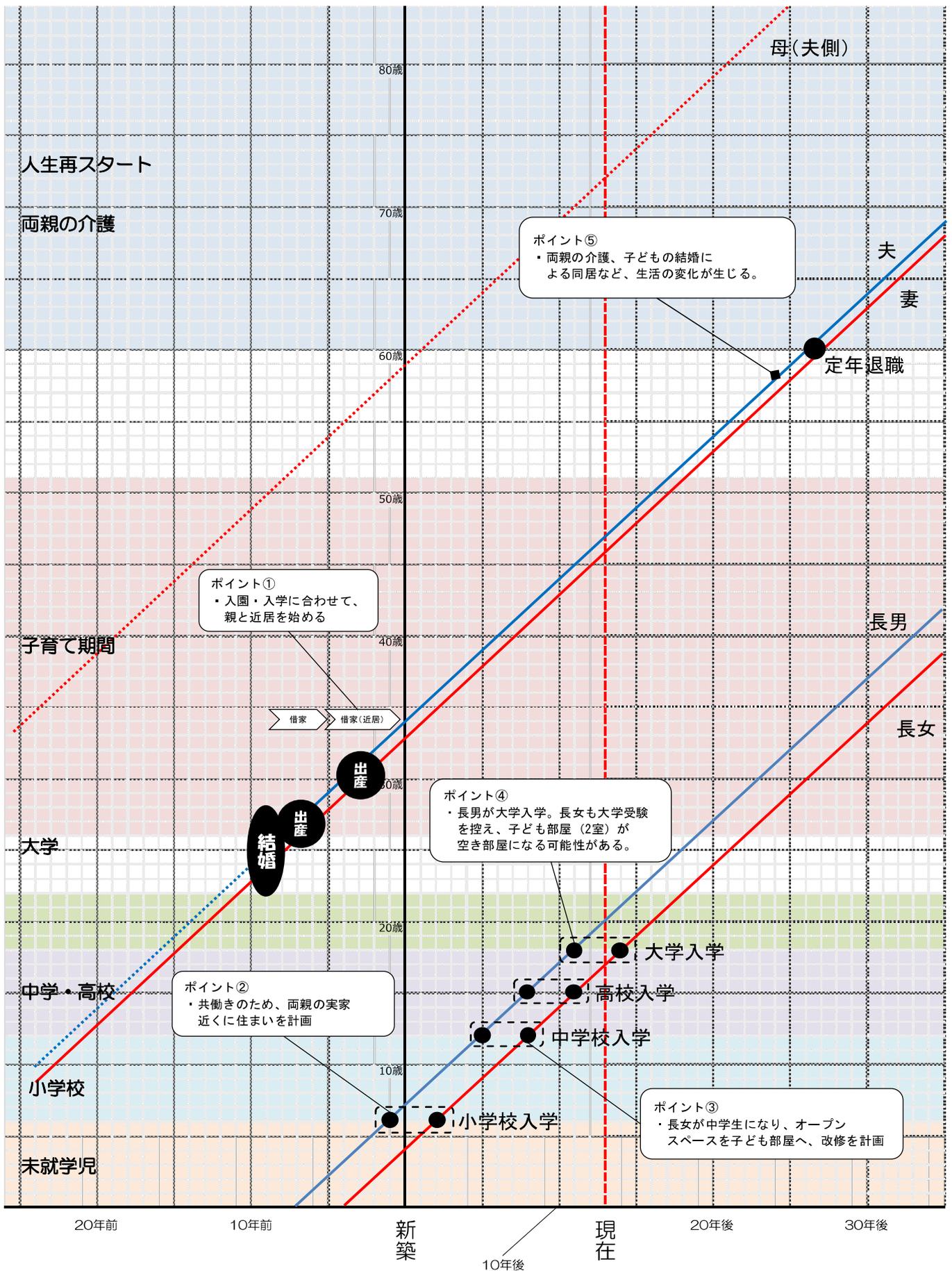
小上がりの和室の案もあったが、すべてバリアフリー化することで、ロボット掃除機が使える便利!

Fさんからのアドバイス

- 完全に分離した2世帯住宅は、両親との適度な距離感もあっておすすめ。建設費もそれぞれの負担が抑えられて満足!ワンフロアのため温度差が少なくて快適。

家族のタイムテーブル (Gさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども2人



Gさんの住まい紹介 (アンケート満足度 (最大5) : 4)



ダイニング・キッチン

工夫点
キッチン横に大容量のパントリーを設置。
調理動線が短く便利

工夫点
子どもが小さい内は、キッチンの横のダイニングテーブルで勉強。家事をしながら勉強も見れる。

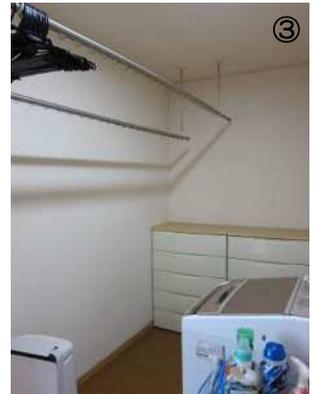


パントリー



工夫点
サンルームに家族の下着類を置くタンスを設置。しましやすいし、お風呂の後も出しやすく便利

改善点
サンルームに窓が無く、年中除湿器による室内干しのため、においが気になる。



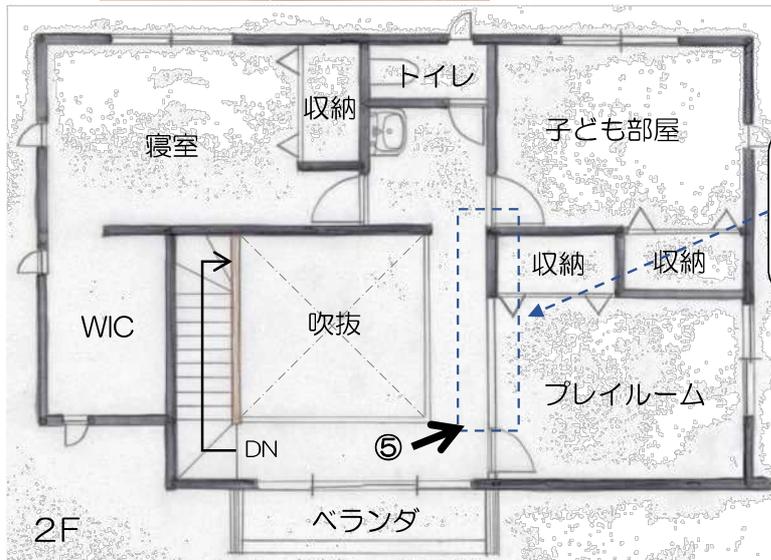
サンルーム

工夫点
室内は、すべてバリアフリー化したことで、ロボット掃除機を使うことができる。



○洗濯物置き場
ただだ洗濯物は、各々が各部屋のクローゼットに収納している。

1F



ポイント
下の子が中学生になる時期に、間仕切り壁を設置。それまではプレイルームとして活用。



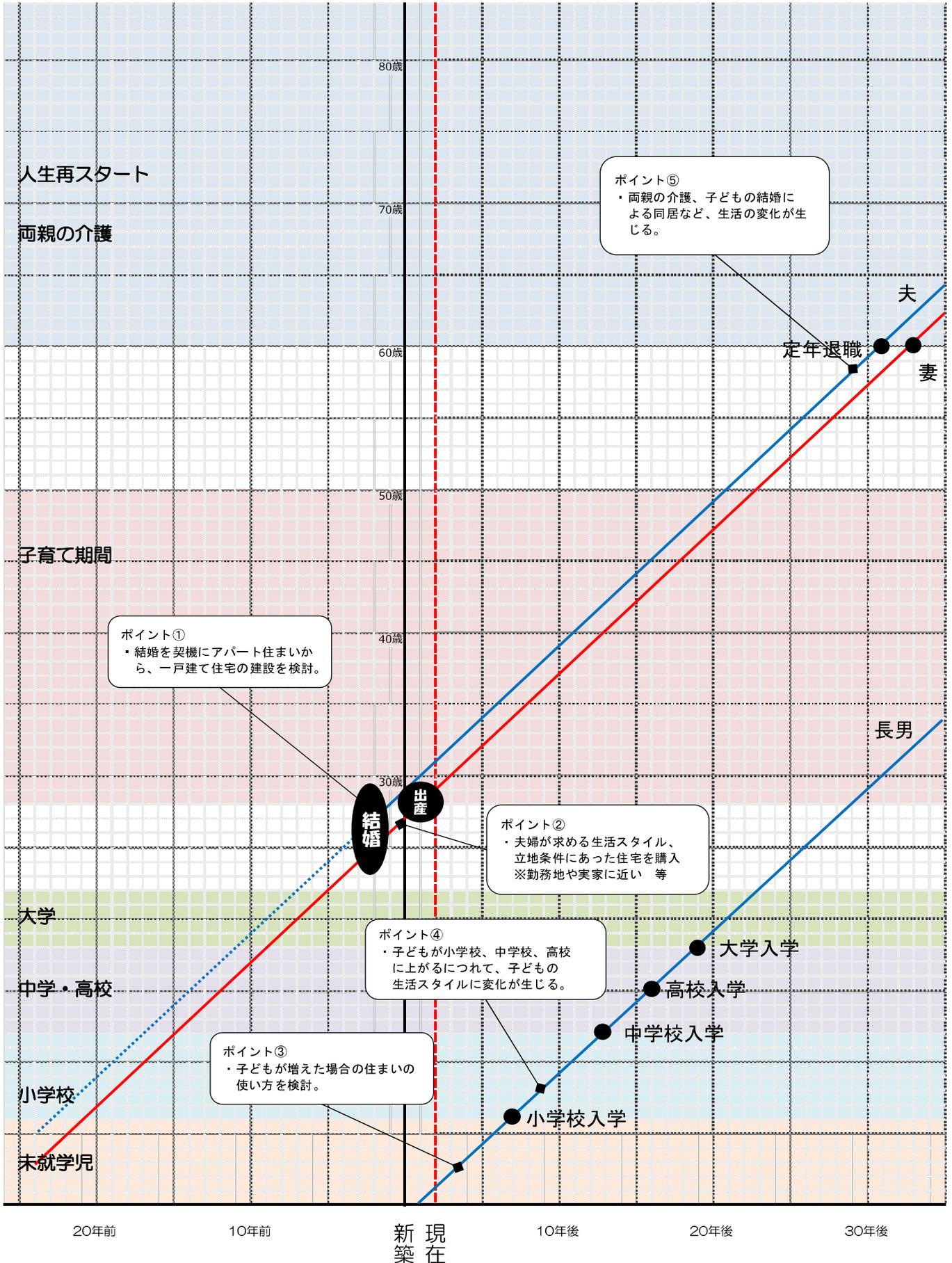
間仕切り壁設置後

Gさんからのアドバイス

- 子育て中に設計したため、子供との生活を中心に考え、できる限り動線が短くなるように（キッチン、ダイニング、サンルームなど）設計してもらいました。老後にも役立つそうです。親との近居も子育てや親の老後への対応にも重要なポイントだったと思います。

家族のタイムテーブル (Hさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども1人



Hさんの住まい紹介 (アンケート満足度(最大5):5)

ポイント
高気密・高断熱住宅とし、寒暖差が少ない計画とした。

ポイント
廊下を作らず、無駄のない計画とした。

工夫点
玄関から直接、パントリー、キッチンへ行ける動線とし、買い物→料理の家事を軽減!



パントリー
(右奥キッチン)

ポイント
夫婦部屋、子ども部屋などの決まった使い方ではなく、状況や成長に合わせて柔軟に使い方を考える計画!



大部屋

小部屋、大部屋の使い方の例

現在
小部屋: 子どもの遊び道具入れ
大部屋: 夫婦+子どもの寝室



将来
小部屋: 夫婦の寝室
大部屋: 子どもの寝室(2人)
将来的に間仕切れるよう左右対称



1F 買い物→調理までの動線



2F

工夫点
脱衣室に洗濯+物干し場を設置。下着やパジャマ類は横の収納棚へ置くことで、片付ける手間を省いた。



脱衣室

ポイント
南側テラスにアウターシェードを設置し、夏でも快適に過ごせるよう配慮!



テラス

ポイント
大容量のウォークインクローゼットを独立して設け、家族みんなで使う計画とした。



WIC

ポイント
床を高くし、床下に大容量の収納を設けた。



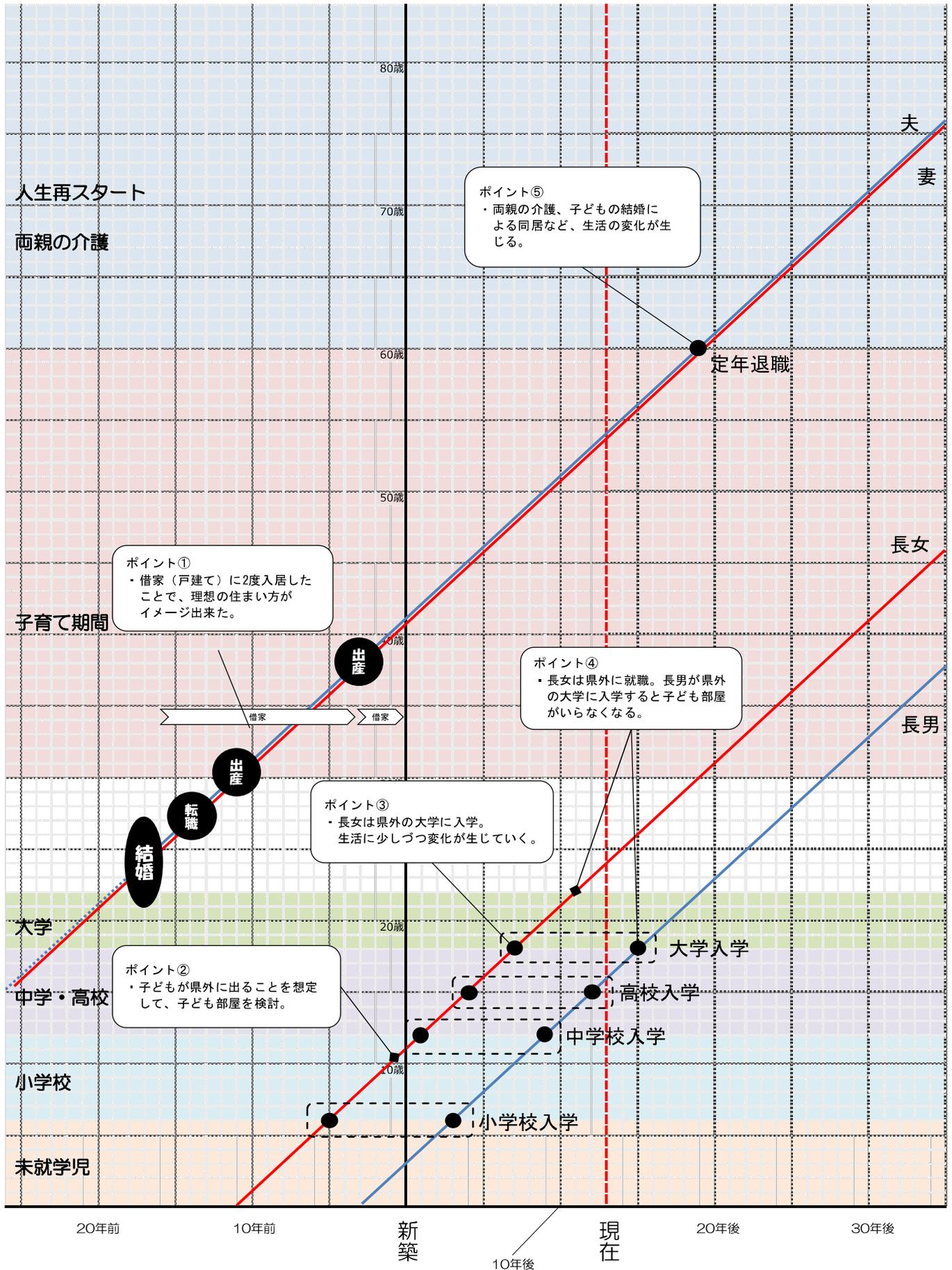
お昼寝コーナー

Hさんからのアドバイス

- 買い物帰りの動線がスムーズでさっとパントリーなどに収納できることと、廊下無くとも快適に過ごせることが満足しているポイントです。

家族のタイムテーブル（1さんのケース）

家族構成：夫婦 + 子ども2人



1さんの住まい紹介 (アンケート満足度(最大5): 4)

工夫点

洗面脱衣室にガス乾燥機を設置し、下着類の洗濯・乾燥・収納は1階で完結



洗面脱衣室

ポイント

子ども部屋は、将来いなくなることを想定し、小さくした。(3帖程度)



子ども室内部



子ども室

工夫点

物干しとクローゼットを兼ねたサンルームを2階南側に配置。



サンルーム

ポイント

車庫の上部など、立体的に建物を活用することで、無駄のない計画とした。



外物置

ポイント

敷地内の畑から直接出入りできる土間スペースを設置。



多目的スペース

改善点

キッチン周辺にゴミ置きスペースが少なかった。



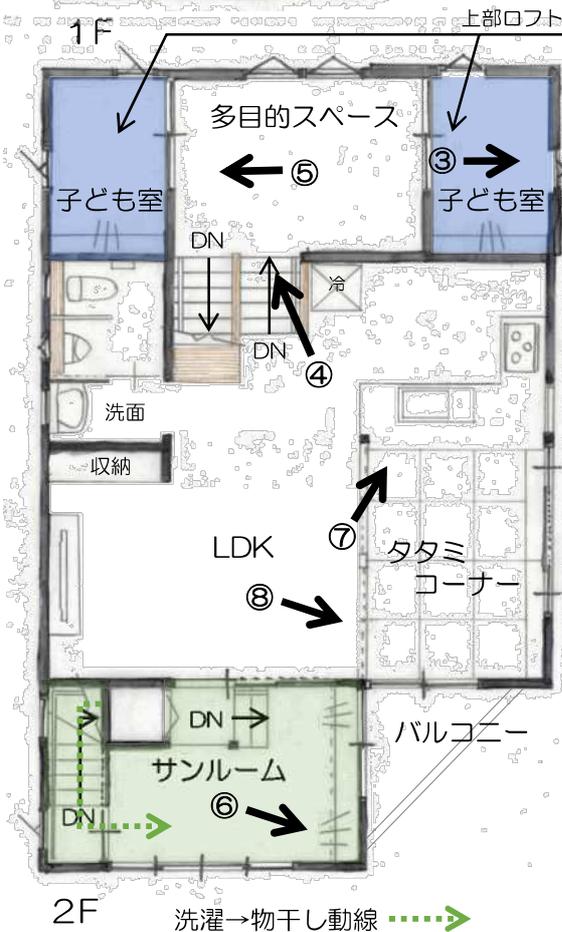
キッチン

工夫点

キッチンと隣接して、小上がりの畳コーナーを設置し、キッチン台と勉強机を一体化した。



畳コーナー



1さんからのアドバイス

- 初めに家族構成や趣味、ライフスタイルや好み、要望等を取りまとめたペーパーを作成し、ある程度理解していただいた上で設計していただきました。収納場所は、細々と設定。コンセントはかなり多めに設置したつもりでしたが、もっと多くしてもよかったです。

< 参 考 >

あなたが考えた子育てや家事を軽減するための工夫についておたずねします。

問 10 あなたが新築（大規模リフォーム）した際、子育てのしやすさや家事の軽減を図るため、どのような工夫をしましたか。自由にお答えください。

回答例)

- ・買い物から調理までスムーズに行えるキッチン配置とした。
- ・炊事、洗濯、物干しの動線をできるだけ短くし、さらに回遊できるようにした。
- ・雨の日でも洗濯できるよう洗濯室近くにサンルームを設けた。
- ・キッチンから子どもの様子が見えるよう、小上がりのタタミコーナーを設置した。
- ・掃除しやすい内装とした。ロボット掃除が使えるよう段差を無くした。
- ・子どもと顔を合わせられるよう、リビング階段にした。 など

回答欄 ()

問 11 問 10 で工夫したことについて、うまくいった点（よくなかった点）があれば、自由にお答えください。

回答例)

- ・洗濯、物干しの動線は短く大変楽だが、物干しの近くに衣類をしまう大きな収納があれば、2階のクローゼットまで運ぶ手間もなく便利だった。
- ・リビング階段としたことで、毎日子どもと顔合わせができる反面、子どもの友達が来た時に、リビングやキッチンが丸見えになってしまった。

回答欄 ()

現在のあなたの状況の変化についておたずねします。

住まいを新築（大規模リフォーム）時からあなたの住まい方にどのような変化があったかお聞かせください。

問 12 住まいを新築（大規模リフォーム）した時から状況に変化はありましたか。

回答例)

- ・新築後 10 年経過し、子ども 3 人のうち 2 人が県外に出てため、部屋がいらなくなった。
- ・親（子ども）と同居している。
- ・家族が増えた。（子供が○人増えた）
- ・特に大きな変化はない 等

回答欄 ()

問 13 問 12 でお答えいただいた状況の変化に対応するため、新築（大規模リフォーム）した時点で、工夫したことはありますか。自由にお答えください。

回答例)

- ・子ども部屋は壁で仕切らず、家具（タンス）で仕切る計画とした。
- ・親との同居を想定して、1階に和室を設け、同居前は客間として利用している。
- ・建具はできるだけ引戸とし、段差をなくした。 等

回答欄 ()

子育て・家事がしやすくなる 福井の住まいづくり事例集

発行 令和3年3月

発行者 福井県土木部建築住宅課

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号

TEL 0776-20-0505

FAX 0776-20-0963

E-mail kenjyu@pref.fukui.lg.jp
